

僕の挑戦は、まだまだ止まらへん。 大阪のおっちゃん、おばちゃん、 これから一緒に頑張っていこうや！

2008年12月、なんばグランド花月からスタートした地球一周「間寛平アースマラソン」。多くの苦難を乗り越え、今年の1月21日、76日間・41040kmを経て大阪へと戻って来られました。陸路はランニング、洋上はヨットでと、自らの肉体と精神力だけを頼りに前進を続けたスーパーアスリート。前人未踏の偉業を成し遂げながらも、ゴール直後から「ア〜メ〜マ〜！」、「パ、パッ、パン、キン！」といった得意のギャグを披露するなど「サービスピ精神は健在です」といったマイペースを崩さない、独特のアヘアワールドをお楽しみください！

—アースマラソンのきつかけを教えてください。

寛平 あれは52歳くらいかなあ。「もう言ってる間に還暦や。カラダが言うことをきくうちに、誰もやっていないことをしたい」と考えてね。最初は何でも良かった。例えば尻に火をつけて高く跳ぶとか。

—それがある時、天からポーンと降りてきた。「あっ、地球一周やー」「よっしゃあー」となってる。

その日から準備を始めました。

—地球一周を振り返って、あらためて一言。

寛平 東へ向かって駆け出したら、西から帰ってきた。地球は丸い、これに尽きます、以上！
(シーン。取材ルームに流れる静寂)

—えっ、終わりですか(汗)。

—なんか、もつとちっぽけな島です。

—村より島の方が大きい気がします。

寛平 そやのに領土問題とか揉めてるやろ。こうなったらもつ、日本は宇宙へ飛び出してもらうたええねん。宇宙人も絶対歓迎してくれるで。

—とりあえず地球上でのお話をお願いします(苦笑)。

寛平 ぎょうさんの出会いがあったらためて気づいたんが、大阪はええとこやというこ。とくに大阪のおっちゃん、おばちゃんはほんまに優しい。僕はハタチくらいからずーっと新喜劇でやってきて、いろんな失敗もあったけど、どんな時も可愛がってもらった。例えばって言いたいけど、キリが無いから言われへんくらい。
—それに大阪はまだ、子どもを叱るおっちゃんがある。すごいええことやで。子どもって、叱られると嬉しいんよ。それが優しいやいづのがわかるんやね。

—寛平さんもよく叱られたんですか。

寛平 そらもういっぱい叱られた。でもな、「もうすんな」と言われても、絶対に「せえへん」とは言わへんかった。そやかってまたするから(笑)。それにしても東日本大震災はビックリしたなあ。

—そつですね。寛平さんは当時どこに…。

寛平 収録でテレビ局にいて、なんとか無事でした。僕は阪神淡路大震災で家もつぶれ、もうちょっとでアカンとこやった。いま、被災している皆さんもすごく困ってると思う。そんななか少しでもラクになる方法。それは、困ってることは何でも誰にでもええから話すこと。絶対に自分だけで抑えへんことや。
—とにかく声に出すわけですね。

寛平 例えば寒いなあと思ってても、黙ってたら風邪ひくのがオチ。「あゝ、寒いなあ。ほんま冷



Special Interview スペシャルインタビュー

間 寛平さん
はざま かんべい



1949年生まれ。よしもとクリエイティブ・エージェンシー東京所属。高知県出身。幼少の頃、大阪市へ引っ越し。1970年、吉本新喜劇の研究生になり、4年後には座長に昇格。趣味はマラソン、ゴルフ、パチンコ、競馬、酒。マラソンでは3時間8分42秒(1998年)の記録を持つ。現在の代表番組は「痛快!明石家テレビ」「探偵!ナイトスクープ」。愛称は「寛平ちゃん」「寛平兄やん」

間寛平さんサイン色紙プレゼント

間寛平さんのサイン色紙を5名の方にプレゼントいたします。ご希望の方は、ハガキに①お名前、②郵便番号、③住所、④年齢、⑤「スポ・みど」の入手場所、⑥「スポ・みど」の感想をご記入の上、下記までお送りください。

応:〒552-0005大阪市港区田中3丁目1番40号
財団法人 大阪市スポーツ・みどり振興協会
「スポ・みど」13号 サイン色紙プレゼント係
締:2011年10月7日(金)消印有効